

東京都の総量削減目標

「2020年までに、2000年比**25%削減**」に向けた取組

東京都 キャップ&トレード制度



宮田 博之

東京都環境局 都市地球環境部
排出量取引担当課長

1.ホップ、ステップ、ジャンプ

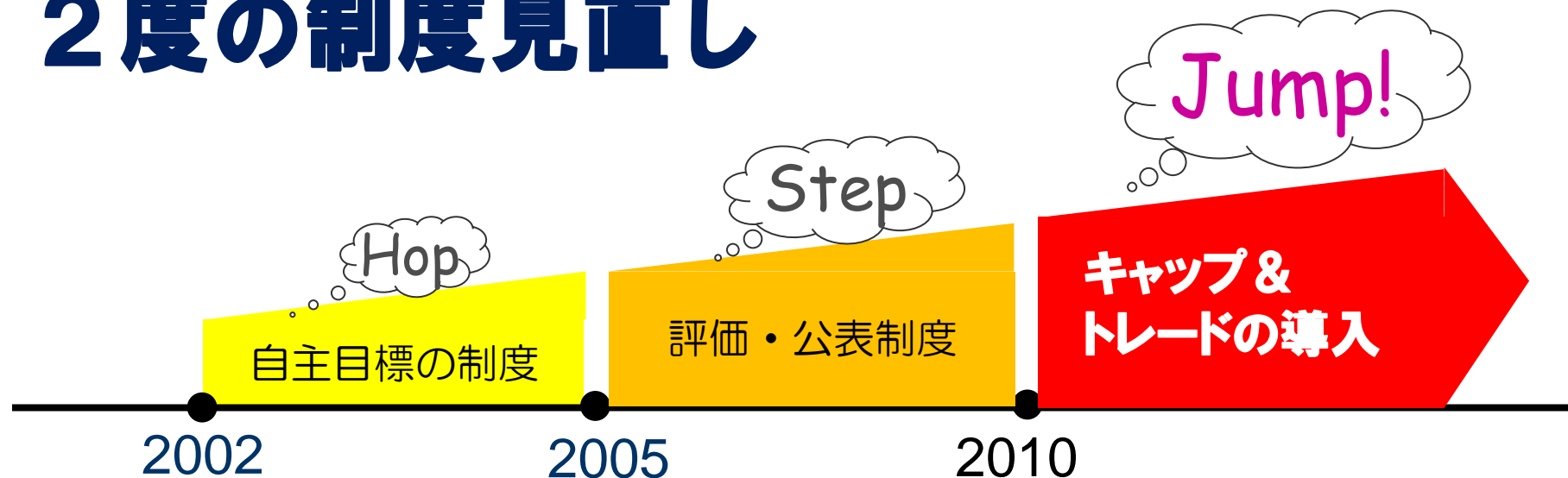
- ① キャップ&トレードの導入までの道のり
- ② 制度導入の結果、省エネで大幅削減を達成

2.事業者との連携

～さらなる削減を目指し～



事業所の実態に合わせた 2度の制度見直し



省エネ
対策

- ・CO2排出量把握、自主目標の設定
- ・有効な対策立案は困難な状況

- ・都が対策を提示
- ・指導助言により基本対策の底上げ

中長期的な視野での
省エネ対策の実現

推進
体制

- ・有効な体制なし

- ・主に、設備担当者が中心

経営者、設備担当者、
テナント事業者等が
一丸となった体制

自主的取組の限界

制度概要

オフィスビル等をも対象とする世界初の 都市型のキャップ・アンド・トレード制度

制度対象: 前年度の燃料、熱及び電気の使用量が、
原油換算で年間1,500 kl 以上の事業所

約1,400 事業所

- 約 1,200 : 事務所ビル、商業施設など
- 約 200 : 工場など



都内の業務産業部門CO2排出量の約 **4割**

総量削減目標

を踏まえた削減義務率

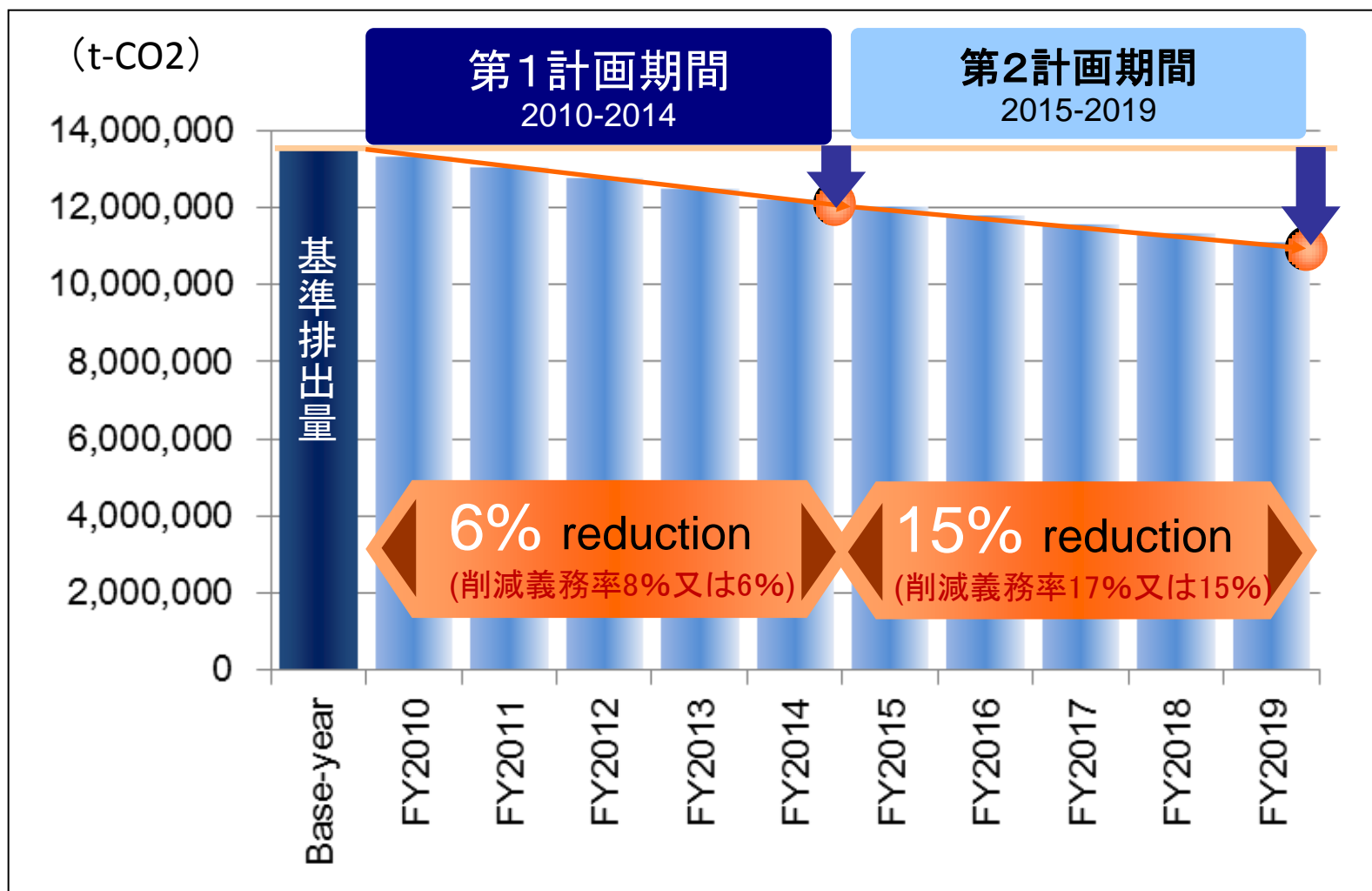


図1 各計画期間の削減義務率

大幅な削減実績 震災後も定着

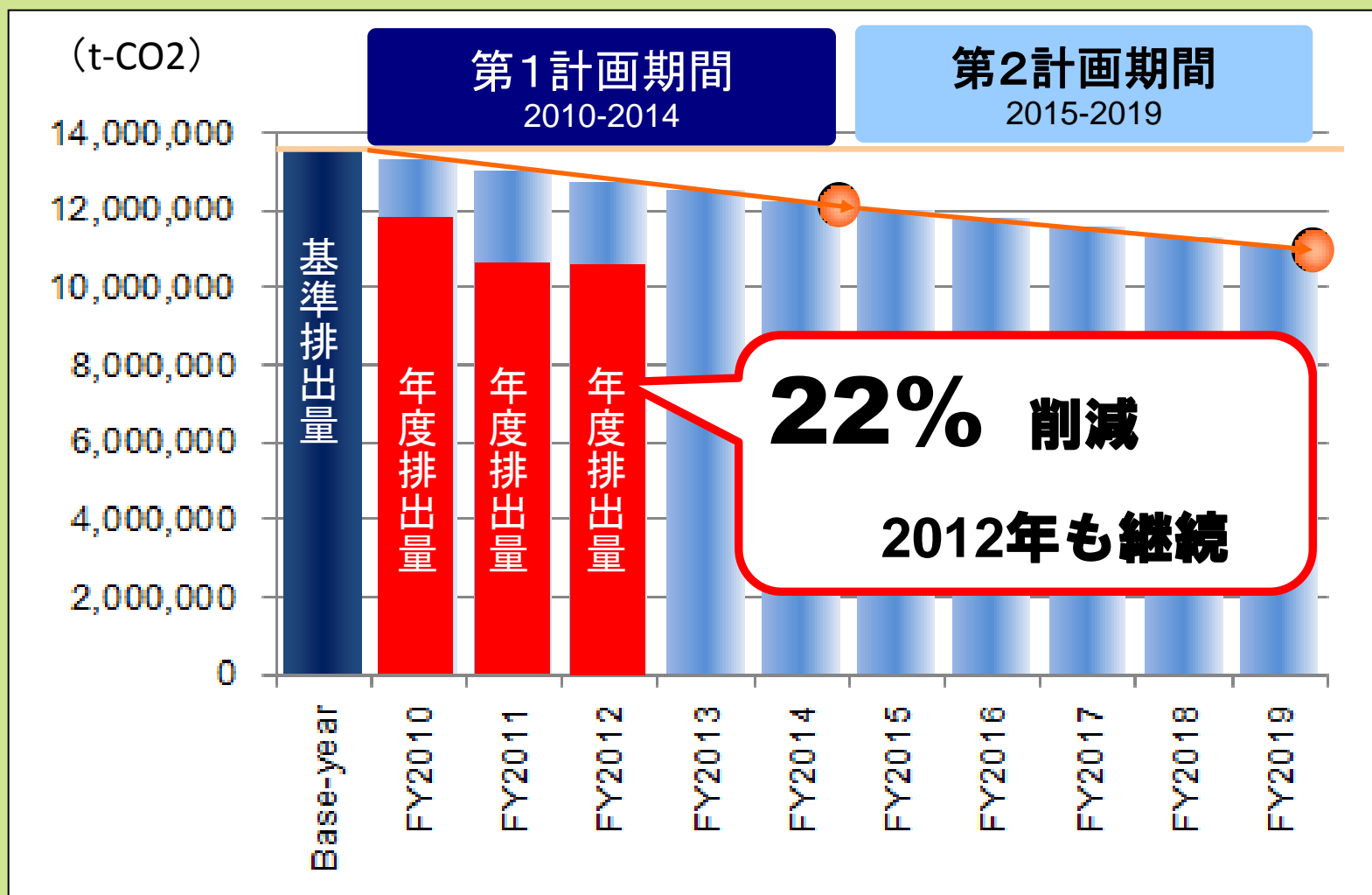


図2 対象事業所におけるCO₂削減実績

燃料転換による削減効果は小

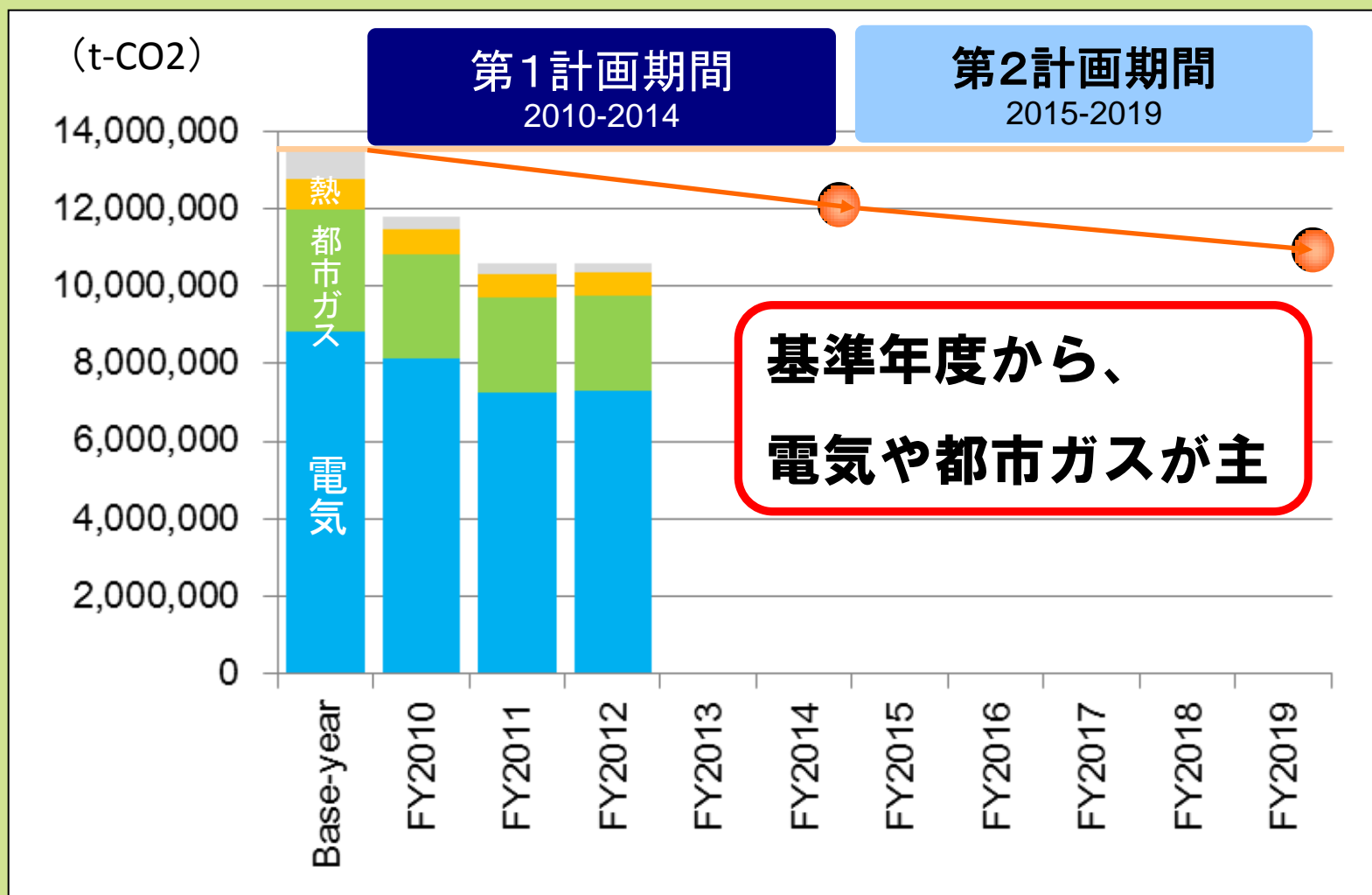


図3 燃料種別のCO2排出量の推移

省エネ対策が決め手

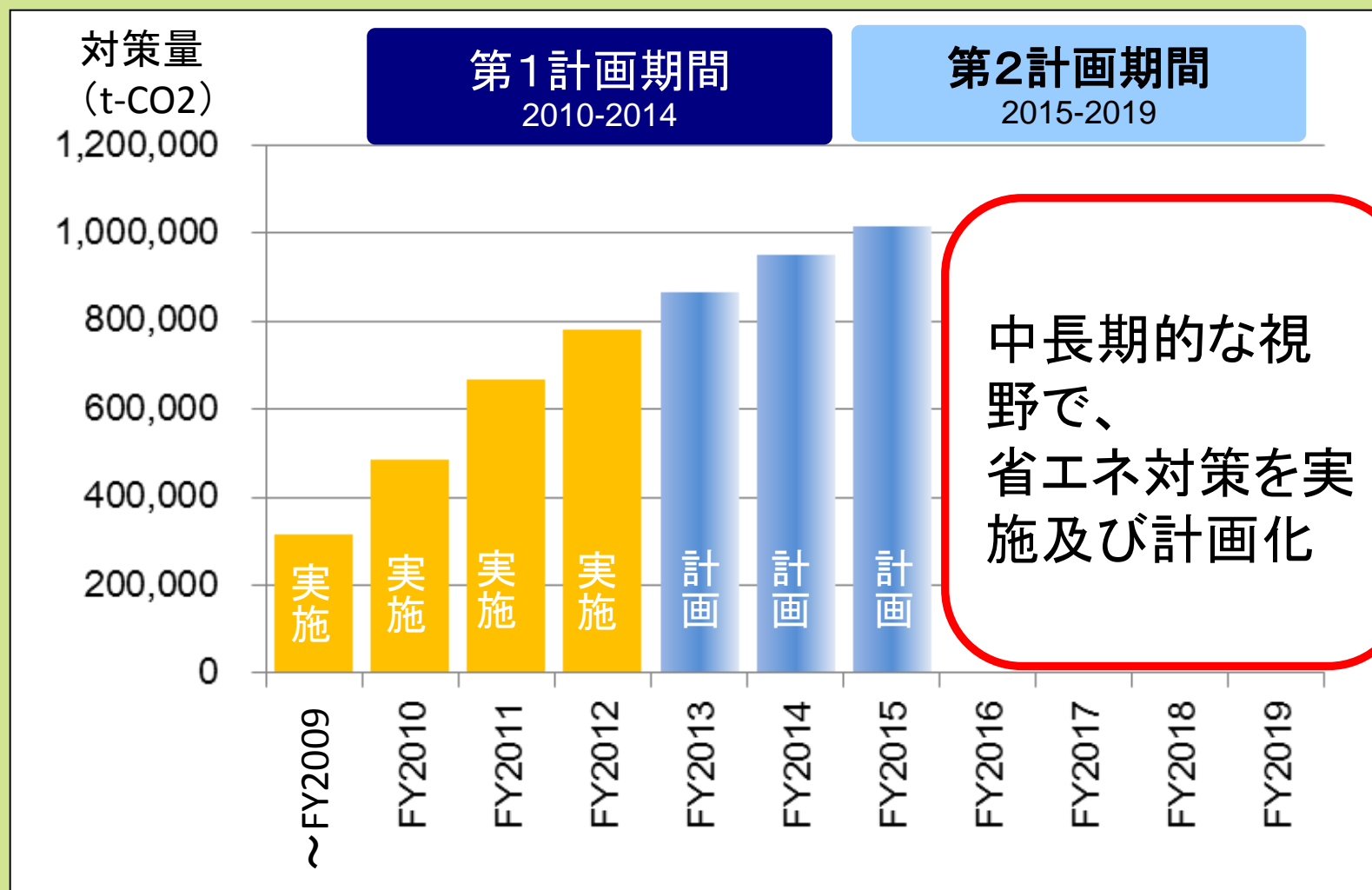


図4 対象事業所における省エネ対策(実施・計画)

省エネ事例① 照度の見直しが定着

- 震災後の節電で照明照度の見直しが徹底
- 翌年度以降も500lx程度以下が過半⇒定着

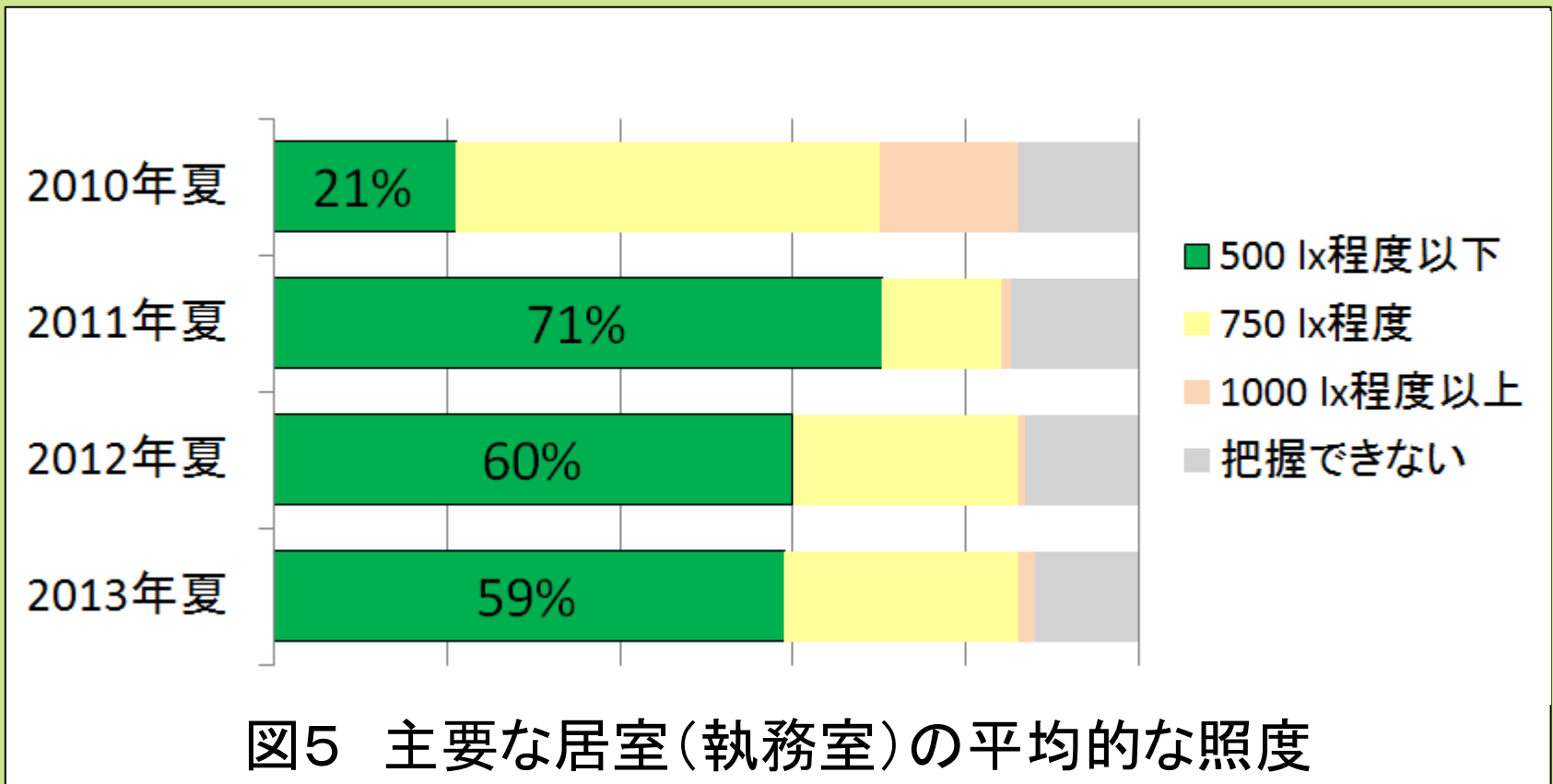
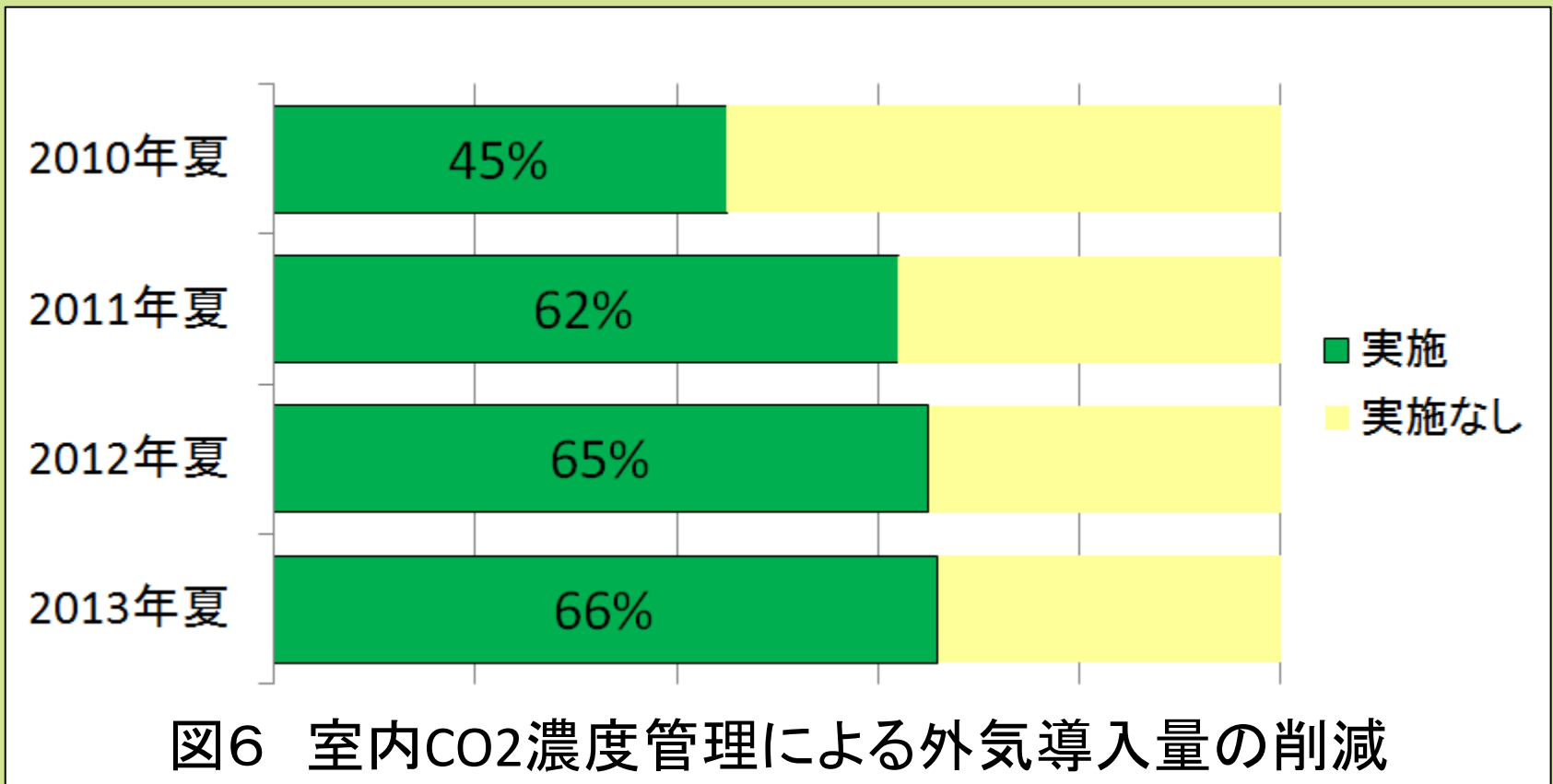


図5 主要な居室(執務室)の平均的な照度

省エネ事例② 運転管理の改善が増加

- 外気導入量の削減など、運用実態に応じた設備の運転管理の改善が増加



省エネ事例③ 高効率照明の導入

- 高効率照明器具が積極導入
- 特に、2010年度以降のLED導入が顕著

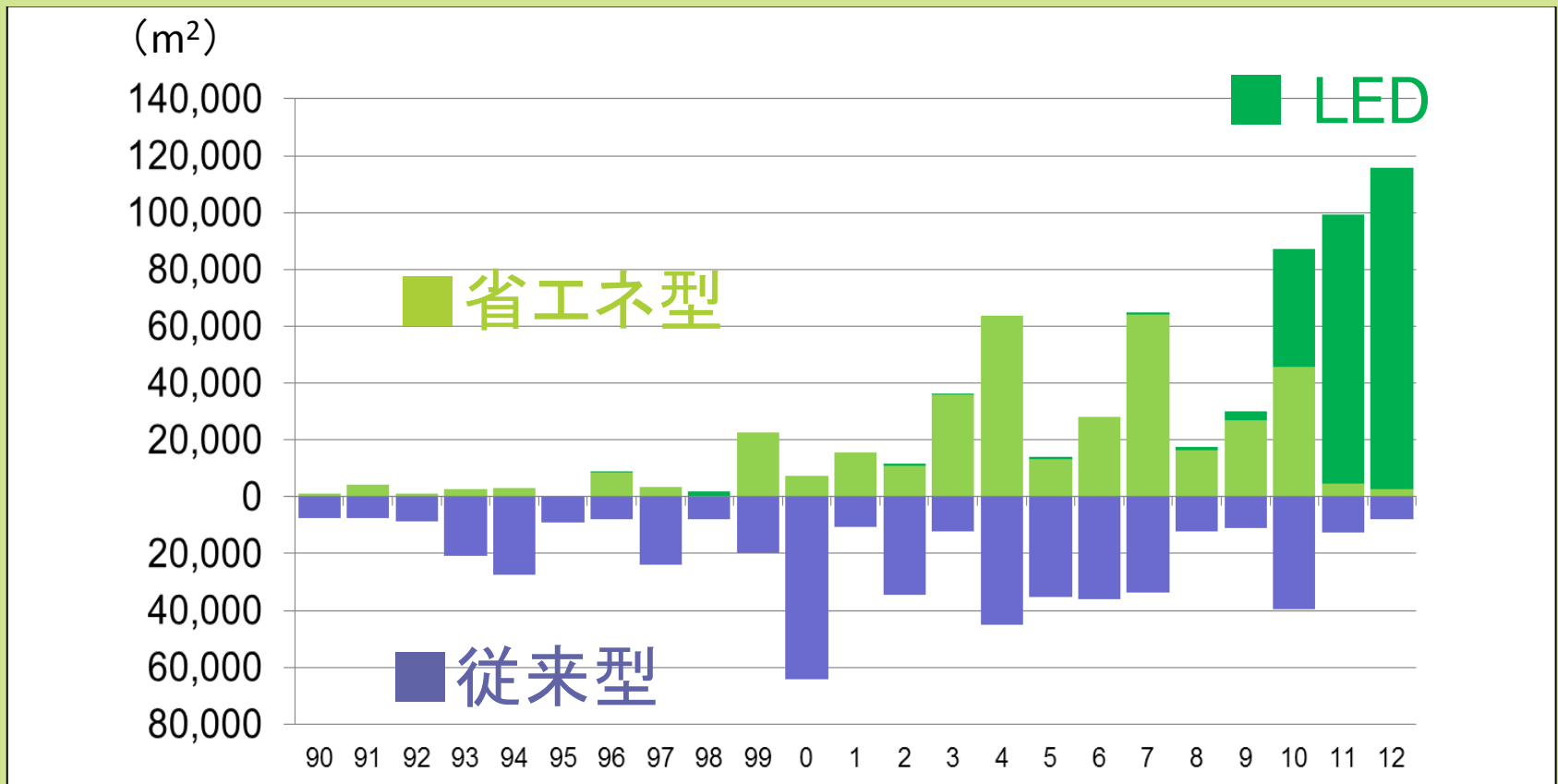


図7 商業エリアにおける照明器具別導入状況

2.事業者との連携

～さらなる削減を目指し～

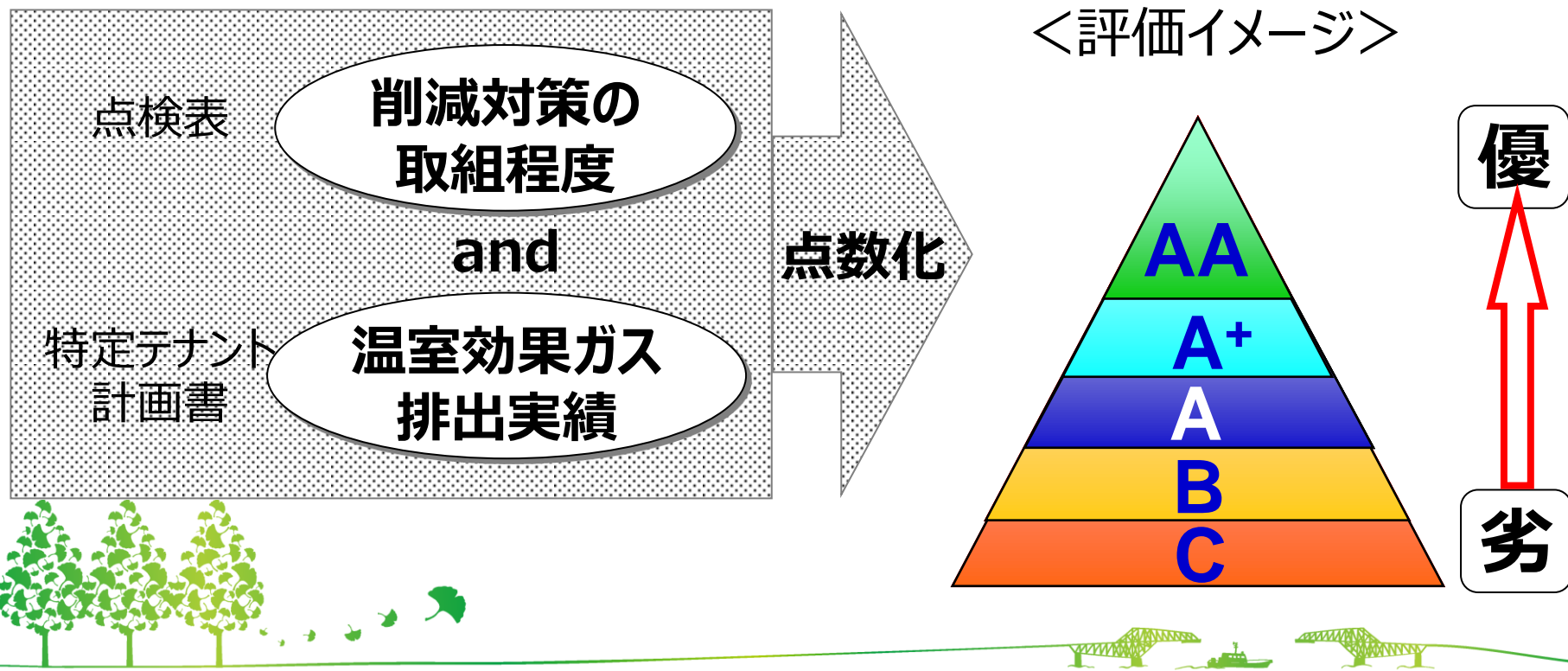
- ① テナント評価・公表制度
- ② 省エネカルテのフィードバック
- ③ トップレベル制度
- ④ 都市再生特別地区の取組み



さらなる削減のために

① テナント評価・公表制度

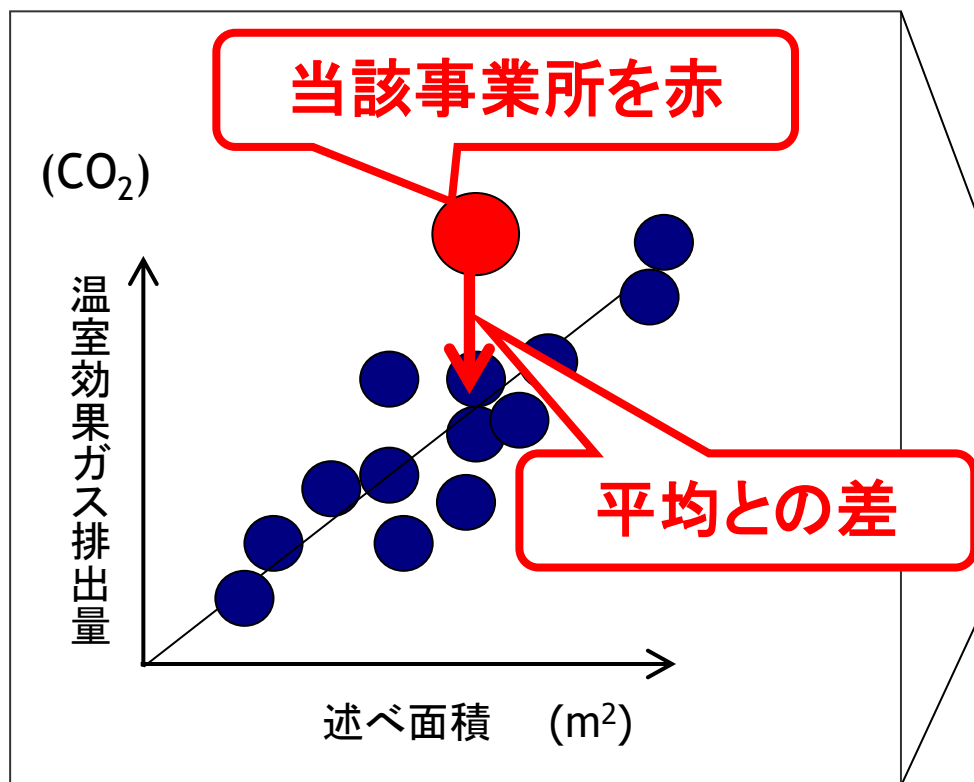
テナント事業者の省エネ対策のレベルアップを図るため、取組を評価・公表するとともに、優良なテナント事業者を表彰



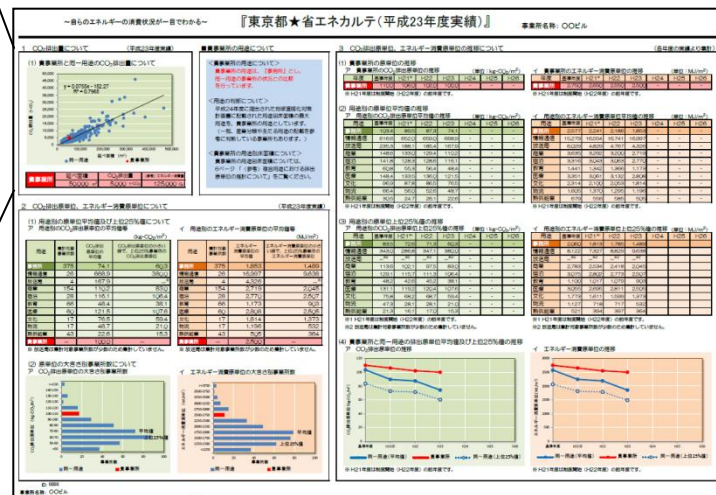
さらなる削減のために

② 省エネカルテをフィードバック(1)

同一用途の他事業所の床面積とCO2排出量の分布に、当該事業所を赤で表示



<東京都★省エネカルテ>



さらなる削減のために

② 省エネカルテをフィードバック(2)

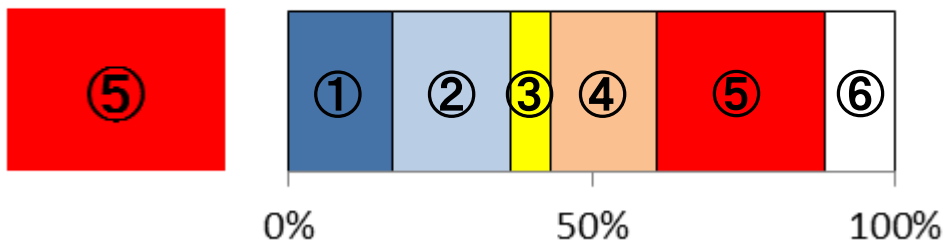
他事業所の省エネ対策実施状況のグラフに、
当該事業所の省エネ対策実施状況を表示

当該事業所を表示

他事業所の状況

貴事業所
の回答

大規模事業所の取組み状況



①全て、②大半、③半分、④一部、
⑤導入無し、⑥空調機無し

＜東京都★省エネカルテ＞

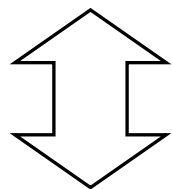
施設名	省エネ対策	実施状況
A	①	○
	②	○
	③	○
	④	○
B	①	○
	②	○
	③	○
	④	○
C	①	○
	②	○
	③	○
	④	○
D	①	○
	②	○
	③	○
	④	○

さらなる削減のために

③ トップレベル事業所(1)

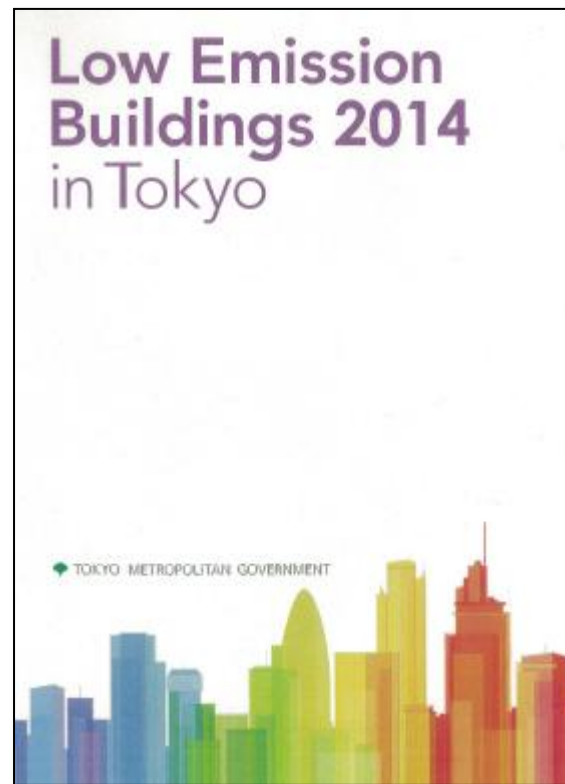
体制・設備・運用の取組みが優良な
事業所をトップレベル事業所に認定

83 /1,400 **事業所が認定**



認定された事業所は、

削減義務率が 1 / 2 または 3/4 に緩和



本日配布の冊子に
トップレベル事業所掲載



さらなる削減のために

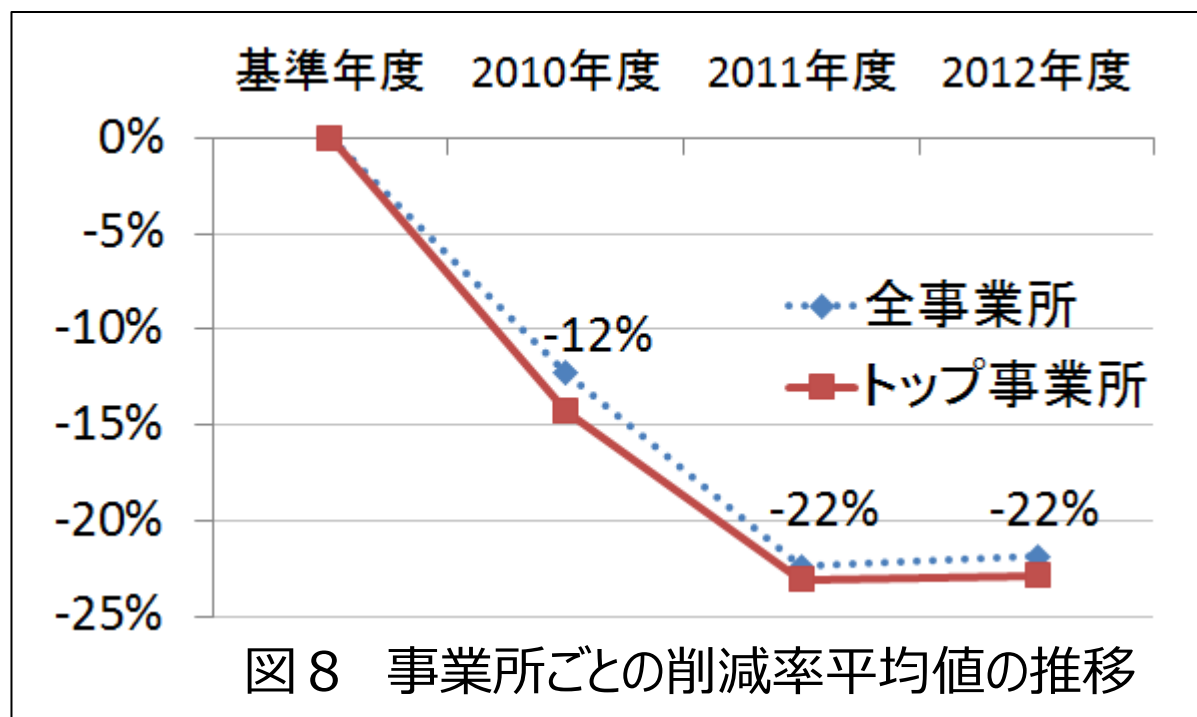
③ トップレベル事業所(2)

体制・設備・運用の取組みが優良であるので削減余地が少ないと想定 ⇒ 他事業所と同程度の削減実績

トップレベル認定
取得のための省エネ
対策実施



大幅削減に寄与



さらなる削減のために

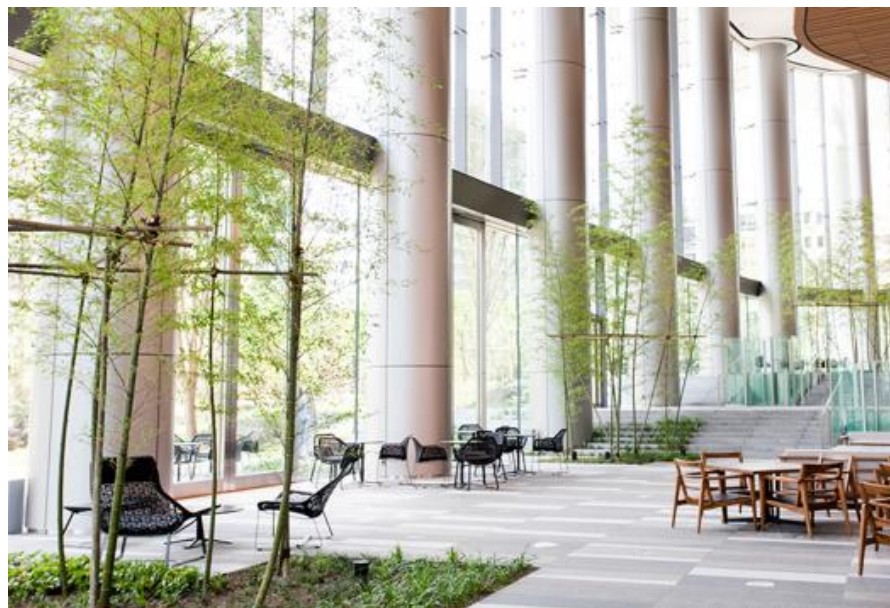
④ 都市再生特別地区における環境対策

都市再生特別地区におけるインセンティブを活用し、大規模開発における建築物に最高の環境性能を誘導

<誘導指標>

- ・ 最高ランクの設計エネルギー性能 (PAL*、ERRで段階3)
- ・ 運用時CO2排出量について計画段階からトップクラス排出目標を設定
- ・ その他特徴的な対策の積極導入にチャレンジ
- ・ その他
自然エネルギーの活用、計測・制御並びにチューニング

自然環境と融合した最先端の省エネ技術



3.まとめ

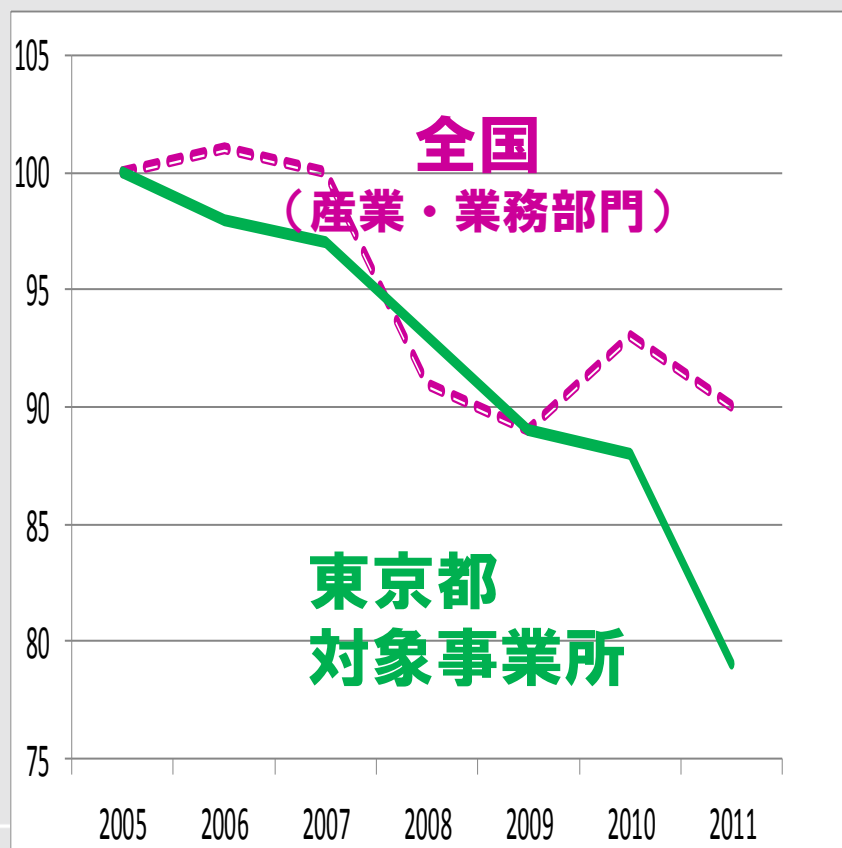
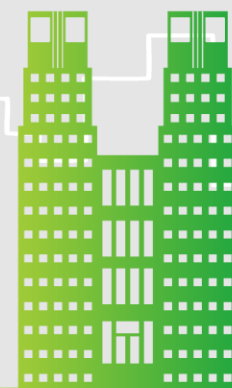


図9 全国と東京都対象事業所の削減の比較

- 事業所の実態に合わせて制度を見直し、キャップ&トレードを導入
- さらなる削減のため、事業所の皆様と連携した仕組みの導入



Tokyo Climate Change and Sustainable Energy Strategy

事業所等と連携した
気候変動対策のさらなる推進



Photo by (c)Tomo.Yun <http://www.yunphoto.net>



東京都環境局HP: www.kankyo.metro.tokyo.jp/en

東京都環境局facebook: www.facebook.com/Environment.TMG